

仕 様 書

1 件 名 四重極飛行時間型質量分析装置の購入

2 納入場所 東京都立大学(南大沢キャンパス) 9号館 119室

3 履行期限 令和8年3月31日

4 仕 様 四重極飛行時間型質量分析装置 1式

(内訳)

(1) 四重極飛行時間型質量分析装置 本体

(2) 測定・解析用データシステム(制御 PC)

① ハードウェア(Windows/PC、モニタ) 1台

② 制御・解析ソフト:全3ライセンス(制御 PC の他に2ライセンスを付属)

③ 多価スペクトル解析ソフト:全1ライセンス(制御 PC でのみ利用可能)

(3) 窒素ガス発生装置

なお、詳細は別紙「内訳書」のとおり

5 納 品

- (1) 納入・設置等にかかる諸費用(運搬・養生・据付・雑材料等の費用)はすべて含めること。
- (2) 納入・設置にあたっては、施設の状況を十分に確認し、建物、設備を傷つけないよう特に配慮し、納入・設置等の作業を行うこと。万一、損害を生じた場合には、納入者の負担により原状に復旧すること。
- (3) 設置にあたっては、地震災害等に対する安全対策(転倒防止等)を講ずること。
- (4) 納入時は安全に十分配慮し、怪我のないよう行うこと。
- (5) 納入時の発生材、梱包材等は納入者が責任を持って引き取り、関係法令に基づき適切に処理すること。
- (6) 排気装置については必要に応じて設置すること。納入・設置に際しては既設空調設備のダクトは基本的に使用しない方法で排気装置を設置すること。既設ダクトを使用する場合は、取り扱う物質が空調設備のダクトへの匂いの残留や劣化が生じない方法を事前に本法人担当者と協議のうえ決定すること。
- (7) 受注者は、設置完了後、別紙「内訳書」四重極飛行時間型質量分析装置 本体②から⑬までを満たしているか性能チェックを行うこと。また、確認後は、速やかに性能チェック報告書(紙媒体 1部)を提出し、本法人担当者の確認を受けること。
- (8) 受注者は、上記(7)実施後、履行期限までに本法人担当者へ測定トレーニングを実施すること。実施日時については、本法人担当者と詳細な日程・時間調整を行うこと。

6 サポート

- (1) 受注者は、装置導入後、本法人担当者からの装置不具合や試料測定条件等に関する問い合わせについて、仮想デスクトップ環境による遠隔サポート(team viewer によるリモートアクセスサービス) を利用して対応すること。これらに関する一切の経費は、受注者の負担とする。
- (2) 受注者は、本装置設置について必要な官公庁への申請書類の作成について、必要な情報の提供、補

助等を行うこと。

7 支払条件 検査完了後、適法な支払請求書を受理した日から起算して60日以内に支払う。

8 環境により良い自動車利用

本契約の履行に当たって自動車を使用し、又は利用する場合は、次の事項を遵守すること。

(1) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(平成12年東京都条例第215号)第37条のディーゼル車規制に適合する自動車であること。

(2) 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(平成4年法律第70号)の対策地域内で登録可能な自動車利用であること。

なお、当該自動車の自動車検査証(車検証)、粒子状物質減少装置装着証明書等の提示又は写の提出を求められた場合には、速やかに提示し、又は提出すること。

9 その他

(1) 本仕様に関して不明な点が生じた場合は、本法人担当者と協議し決定すること。

(2) 納入日時については、本法人担当者と詳細な日程・時間調整を行うこと。

10 担当者

東京都公立大学法人

東京都立大学都市環境学部環境応用化学科 電話 042-677-1111(代) 内線 4957 稲垣 佑亮

東京都立大学管理部理系管理課会計係(都市環境)電話 042-677-1111(代) 内線 4024 石川 真菜

内訳書

No	品名	規格	
1	四重極飛行時間型質量分析装置 装置 本体	①質量分析装置	四重極飛行時間型質量分析装置であること。
		②質量分解能	30,000(FWHM)以上の性能を有すること。
		③質量精度	1ppm以下(内部標準)であること。
		④スキャン速度	MS及びMS/MS測定で50スペクトル/秒以上の取得速度を有していること。
		⑤質量測定範囲	20 ~40,000(m/z)以上の範囲で測定が可能であること。
		⑥測定モード	Posモード、Negモード、MSモード及びMS/MSモードを有すること。
		⑦イオン源導入部	ガラス製キャピラリーを搭載していること。
		⑧エレクトロスプレーイオン化部(ESIイオン源)	スプレーニードルに直接電圧がかからない機構を採用しイオン化が可能であること。
		⑨ESIイオン源(標準装備)	ESIイオン化が可能なイオン源を有していること。
		⑩APCIイオン源	APCIイオン化が可能なイオン源を有していること。
		⑪APPIイオン源	APPIイオン化が可能なイオン源を有していること。
		⑫直接導入部(ダイレクトブローブ)	・溶液、固体及び粉体状の試料を直接導入してAPCI及びAPPIのイオン化が可能であること。 ・横幅5cm以内、奥行5cm以内、高さ16cm以内であること。
		⑬定格電源	単相200V 20A
		⑭装置の設置台	サイズ:幅900mm × 奥行750mm × 高さ740mm
		⑮PCラック	サイズ:幅800mm × 奥行700mm × 高さ900mm
		⑯防音カバー	サイズ:幅740mm × 奥行510mm × 高さ460mm
	測定・解析用 データシステム	①OS	Windows10LTSC英語版
		②モニタ	有効表示領域対角24インチ以上で、1,920×1,080(ピクセル)以上の解像度を有すること。
		③定格電源	AC100V 50/60Hz
		④CPU	Quad Core 3.0GHz以上の性能を有すること。
		⑤HDD容量	2,000GB以上のデータ容量を有すること。
		⑥外部記憶装置	DVDドライブを有すること。
		⑦リモートサポート	遠隔地からインターネット回線を利用した装置の状態確認、測定アドバイス及びメソッド作成が可能であること。
		⑧制御・解析ソフト(Data analysisライセンス)	四重極飛行時間型質量分析装置本体を制御し、データ解析が可能であること。
	窒素ガス発生装置	⑨多価スペクトル解析ソフト(Maximum Entropyデコンボリューションライセンス)	多価イオンで検出されたスペクトルをデコンボリューションして本来の分子量に変換した解析が可能であること。
		①窒素ガス発生装置	純度99%以上で12L以上の供給性能を有すること。
		②定格電源	AC100V 50Hz 12.1A